

京阪枚方ステーションモールCブロック（変更）に関する検討結果

1. 駐車需要の充足その他による大規模小売店舗の周辺の地域の住民の利便及び商業その他の業務の利便の確保のために配慮すべき事項

(1) 駐車需要の充足等交通に係る事項

①駐車場の必要台数の確保

現状の51台及び指針による増床後の必要台数6台を合わせた57台と同数の57台（全体収容台数135台、うち小売店舗用57台、他施設用69台、一般利用9台）を計画しており、特に問題は無いと考えられる。

②駐車場の位置及び構造等

出入口は2箇所（入口1箇所、出口1箇所）で、ピーク1時間の来客車両台数は125台（発券ゲートなし）であり、公道に入庫待ち行列が発生するおそれがないため、入庫処理能力は特に問題は無いと考えられる。

③駐輪場の確保等

現状の69台及び増床後の指針参考値18台を合わせた87台と同数の87台（全体収容台数169台、うち小売店舗用87台、一般利用82台）を計画しており、特に問題は無いと考えられる。

④荷さばき施設の整備等

荷さばき施設は、来客用車両と荷さばき車両出入口は同一であるが、作業スペースは来客者車両と分離されており、特に問題は無いと考えられる。

⑤経路の設定等

来客車両の誘導経路は看板及びホームページで周知しており、今回の変更に伴う経路の変更はない。

(2) 歩行者の通行の利便性の確保等

駐車場内は歩行車と車両を分離するための歩行者通路を確保し、一部歩行者と車両が交錯する部分には、横断歩道と一旦停止の路面表示を行い注意喚起する。入口・出口には利用状況に応じて誘導員を配置し車両の誘導を行うとしており、特に問題ないと考えられる。

(3) 廃棄物減量化及びリサイクルについての配慮

一般廃棄物については、枚方市の一般廃棄物処理計画に基づき、Reduce（発生抑制）、Reuse（再利用）、Recycle（再生利用）等に積極的に取り組むとともに循環的利用に適さないものについては適正に処理するとしており、特に問題は無いと考えられる。

(4) 防災・防犯対策への協力

防災対策について、防災対策への協力要請があった場合には必要な協力をする。

防犯対策について、警備員等による場内巡回を実施し、不審者への声掛け等により防犯に努めるとしており特に問題は無いと考えられる。

2. 騒音の発生その他による大規模小売店舗の周辺の地域の生活環境の悪化の防止のために配慮すべき事項

(1) 騒音の発生に係る事項

指針に基づき予測評価を行っている。

騒音の総合的な予測は、店舗周辺の4地点において実施しており、全ての地点で環境基準値を下回っている。

発生する騒音ごとの予測（夜間最大値）は、店舗敷地境界線上の4地点及び住居等の4地点で実施しており、すべての地点で規制基準値を下回っている。

以上のことから、周辺的生活環境への影響は、特に問題は無いと考えられる。

(2) 廃棄物に係る事項等

保管施設の容量は126.0 m³（予測排出量7.26 m³）と十分確保されている。

また、廃棄物保管施設は密閉性を確保しており、生ごみ等は空調設備による温度管理のもと保管して、臭気の発生を抑制するとしており、特に問題無いと考えられる。

(3) 街並みづくり等への配慮等

枚方市屋外広告物条例に基づき、街並みづくりや景観に配慮した計画にするとしており、特に問題は無いと考えられる。